

《 2017年度運輸安全マネジメント取り組み 》

<<< 一般貸切旅客運送事業 >>>

安全統括管理者 真田 明彦

2017年度安全目標(貸切旅客)

- 1: 軽微な物損事故発生件数 . . . 0件 ⇒ 0件
- 2: 加害事故件数 0件 ⇒ 0件

重点事故防止目標

「追突事故防止」

重点指導項目

- 1: 「右左折、車線変更時の目視による安全確認の徹底」
- 2: 「速度に応じた安全な車間距離の保持」
- 3: 「転回時の後方確認を常に慎重に行う」

事故防止のための安全方針

- ・ 安全運転は、わが社の根幹
- ・ 安全運転は最大のコストダウンであり、社会的責務である
- ・ 安全をすべてにおいて最優先とする
- ・ 安全は、業務の基本動作
- ・ 安全は、最大の顧客満足
- ・ 安全な運行は、プロドライバーの社会的使命
- ・ 他車の模範となる交通マナー・交通ルールの遵守
- ・ 無理な運行は、しない、させない

社内への周知方法

- 1:事務所に「安全運転宣言」を掲示する
- 2:安全運転宣言カードを各自が携行する
- 3:点呼時、ドライバーによる「安全運転5則」の唱和を徹底する
- 4:電子掲示板（グループウェア）を活用し、発信していく

安全方針に基づく目標

事故災害

	2016年度結果	2017年度目標
人身事故	0件	0件
物損事故	0件	0件

目標達成の為の計画

- 1:運行管理体制の充実強化
- 2:教育及び研修の充実強化
- 3:車両事故発生者には運転適正診断を速やかに受講させる（軽微なものを除く）
- 4:バックカメラの導入
- 5:安全衛生計画の活動項目を遂行する

活動項目	実施目標
事故防止委員会（安全運行ミーティング内にて）	毎月
ヒヤリ・ハット情報に関する意見交換	毎月・随時
事故惹起者のカウンセリング	随時
事故事例等の情報交換	毎月・随時
ドライブレコーダーの活用	適宜
月間PDCAサイクルカレンダーを活用	毎月・随時
運転適正診断の受診	随時
事故惹起者の外部研修	発生後
「安全通信」の全体発信と閲覧	毎月
点検整備のチェック	毎月
顧客満足度アンケート回収と内容閲覧	アンケート回収時
定期健康診断	年1回又は2回
SDカードの取得	全員取得

我が社における安全に関する情報交換方法

- 1:安全運行ミーティング時に乗務員を中心に「ヒヤリ・ハット情報」についての意見交換を行う
- 2:日々の対面点呼の際に、乗務員からの情報を収集することによりチーム内で情報共有する
- 3:毎朝の朝礼時に安全運転発信、事故事例の発信を行う
- 4:車内掲示板・電子共有掲示板（グループウェア）より逐次発信を行う

我が社の安全に関する反省事項

- 1:一昨年度は、空車時、バック運転中にポールに当てる軽微な車両事故が2回あった。
- 2:お客様アンケート「マイクロバス乗務員の対応はいかがでしたか？」の質問に対して、
100点満点中、年間平均点が97点の結果 ⇒ 100点を目指す。

反省事項に対する改善方法

1. 十分な車間距離と安全速度を守り、追突事故は絶対に起こさないこと
 2. 周辺の状況を確認するため、特に夜間は一旦車両を降りて目視での確認を怠らない
 3. 「・・・だろう」ではなく、「・・・ちがいない」という予測運転を行い、
急ブレーキを踏まざるをえない状況の回避を常に行う。
-